

【16】質問紙法について学ぼう

「質問紙法」とは…いわゆる「アンケート調査」と呼んでいる調査方法の正式な名称です。

特徴は、一度にたくさんの回答を集めることができ、数値的な分析ができるところにあります。

一方で、**精度の高い回答結果を得るためには注意するところもあります。**注意点について考えましょう。

例. ある町で開催されたお祭りで、次のようなアンケート調査を行うこととしました。

〇〇町 夏祭り アンケート

この度は、〇〇町のお祭りにご参加いただき、ありがとうございました。

これからのお祭りの参考にしますので、アンケート回答にご協力をお願いします(所要時間はおよそ3分です)。

あなたの年齢に該当するチェックボックス(□)にチェック(レ印)をつけてください。

☐ 9歳以下さいいか (わからないところは、ほごしゃのかたなどによんでもらいましょう)

☐ 10～12歳 ☐ 13～15歳 ☐ 16～18歳 ☐ 19歳以上

【1】 次の催し物について、満足度を教えてください(参加したものについてのみ、答えてください)。

1-1 スーパーボールすくい

とても楽しかった ・ わりと楽しかった ・ あまり楽しくなかった ・ ぜんぜん楽しくなかった

1-2 射的

とても楽しかった ・ わりと楽しかった ・ あまり楽しくなかった ・ ぜんぜん楽しくなかった

1-3 くじ引き

とても楽しかった ・ わりと楽しかった ・ あまり楽しくなかった ・ ぜんぜん楽しくなかった

1-4 ヨーヨー釣り

とても楽しかった ・ わりと楽しかった ・ あまり楽しくなかった ・ ぜんぜん楽しくなかった

【2】 次の販売の中で、おいしかったものはどれですか。3つまで答えてください。

焼きそば	フランクフルト	かき氷	お好み焼き	ポップコーン
じゃがバター	わたあめ	たこ焼き	ベビーカステラ	チョコバナナ

【3】 今年のお祭りについてお答えください。

3-1 開催した時期はいかがでしたか

とても良かった わりと良かった どちらともいえない あまり良くなかった まったく良くなかった

3-2 係の人の対応はいかがでしたか。

とても良かった わりと良かった どちらともいえない あまり良くなかった まったく良くなかった

3-3 来年もお祭りに参加したいと思いましたか。

とても思った わりとと思った どちらともいえない あまり思わなかった ほとんど思わなかった

【4】 その他 感想や要望があれば、ご記入ください。

(

)

このアンケートについて、もし次の(1)～(5)のような質問とした場合は改善が必要です。改善すべき点はどこでしょうか。
また、このまま調査するとどのような問題が起きるかを考えてください。

(1) 「今年の販売では、かき氷の種類を4種類から6種類に増やしました。かき氷の満足度はいかがですか？」				
(2) 「来年もお祭りに参加したい」の質問について、 「あまり思わなかった」、「ほとんど思わなかった」と回答した人は、理由を記してください。				
(3) 次の各項目について、満足度を答えてください。				
1 スーパーボールすくい	とても楽しかった	・	わりと楽しかった	・
2 射的	とても楽しかった	・	わりと楽しかった	・
				・
				・
25 焼きそば	とてもおいしかった	・	わりとおいしかった	・
26 フランクフルト	とてもおいしかった	・	わりとおいしかった	・
				・
				・
49 太鼓	とても上手だった	・	わりと上手だった	・
50 盆踊り	とても上手だった	・	わりと上手だった	・
				・
				・
質問は以上です。				
(4) 係の対応はいかがでしたか。				
	とても良かった	・	良かった	・
			悪かった	・
			とても悪かった	
(5) 花火の音はうるさくありませんでしたか。				
	はい	・	いいえ	

考えるヒント

○質問紙法の精度が悪くなる場合…

「回答者が回答に煩わしさを感じる」、「どう回答してよいか迷ってしまう」、「質問の仕方が回答を誘導している」など。

○回答の尺度の例は…

五段階 「とても」「わりと」「どちらともいえない」「あまり」「ほとんど」… 肯定2・中立1・否定2の尺度で回答

四段階 「とても」「わりと」「あまり」「ほとんど」… 肯定2・否定2の尺度で回答。

質問の内容によって、中立的な回答を設けた方がよいかを判断します。

※注意1…「とても」「わりと」の捉え方は回答者によって異なる。



辛口評論家タイプ

「とても良い」なんて、かんたんに付けられないな(そんなに甘くない)!

来年も頑張っしてほしい「とても良い」をたくさんつけてあげようかな



人情家タイプ

10人に調査して、辛口評論家タイプが7人いた。(しかも16歳以上はみんな辛口だった…)

→対象数を広げて200人になると、辛口評論家タイプは36人であった。

→調査数を増やすことで、捉え方による影響を小さくすることができます。

これ、○班の調査だ。

△△って答えよう



※注意2…対象者は任意(無作為)に選ぶ。

自分を良く知っている人を回答者に集めると、協力的な回答になってしまいます。

理解者を多く含む集団は NG